

会場案内図



会場施設



芦北キャンパス
(芦北町民総合センター(しろやまスカイドーム))
熊本県葦北郡芦北町花岡1705-1



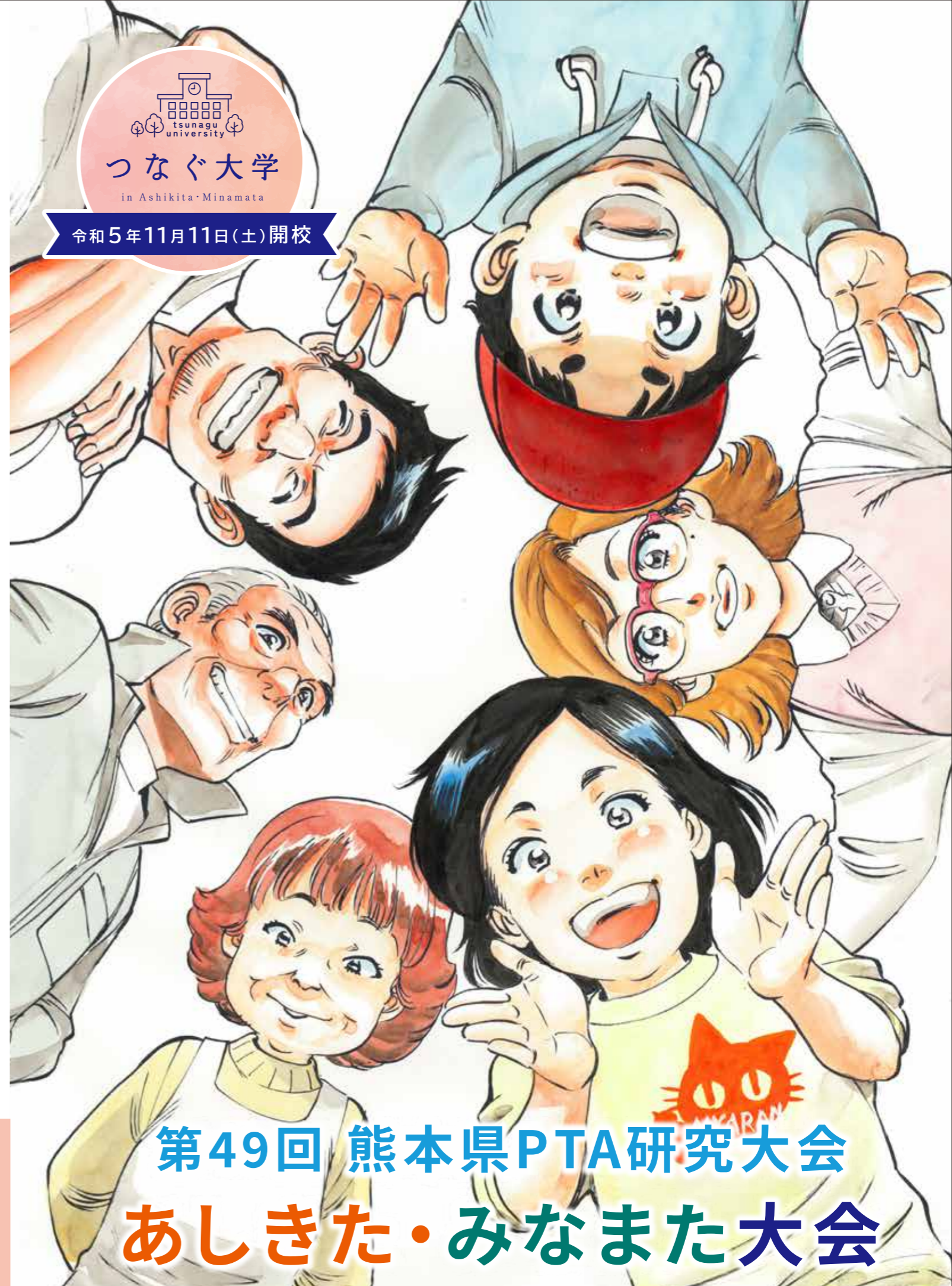
津奈木キャンパス
(津奈木町つなぎ文化センター)
熊本県葦北郡津奈木町岩城1588-2



水俣キャンパス
(水俣市文化会館)
熊本県水俣市牧ノ内8-1



令和5年11月11日(土)開校



第49回 熊本県PTA研究大会 あしきた・みなまた大会

【PTA会員の皆様へ】

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
この3年間は、コロナ禍によりPTAの強みである人との繋がりが思うようにできない期間でもありました。今回の研究大会では、人との繋がりの大切さを中心に企画しました。様々なPTA活動を通して得られるものは、子育てや教育に関する知識だけではなく、一期一会の出会いでの自分磨き、そしてそこでの繋がりは子供達の未来を作る手助けともなってきました。
今大会では、皆様の今後の活動の糧となるような繋がりを創る「つなぐ人」を講師にお招きし、繋がりの大切さを皆様と学び、再認識する機会になればと思います。皆様のご参加を、葦北と水俣で心よりお待ちしております。

第49回熊本県PTA研究大会 あしきた・みなまた大会
大会会長：田中万里 実行委員長：下山幸之助

主催：熊本県PTA連合会 主管：葦北郡PTA連合会・水俣市PTA連絡協議会

大会趣旨

たくさんの人との絆をつなぐことは、いつの時代でも私たち(大人)の大きな役割の一つです。毎年のように発生する自然災害、そしてコロナ禍においても、私たちはつながることで大きな力を持つことができ、守られ、共に成長してきました。

あしきた・みなまた大会では、人や物事の様々なつながりを大切に、それをつくることのできる「つなぐ人」を育てることを目的としています。

また、大会を学びの場として過ごしていただくために、開催地を広い大学としてデザインしました。各キャンパスにてつなぐことの大切さや奥深さを楽しく学び「つなぐ人」としてご活躍いただけるよう、あしきた・みなまたで共に学びましょう。

後援

熊本県
熊本県教育委員会
芦北町・津奈木町・水俣市
芦北町教育委員会・津奈木町教育委員会・水俣市教育委員会
一般財団法人 熊本県PTA教育振興財団

大会スケジュール

芦北キャンパス

8:30	受付開始(60分)
9:30	アトラクション(20分)
10:00	開会行事(含式典)(30分)
10:40	第1講時(80分)
12:00	昼食
12:50	アトラクション(20分)
13:30	第2講時(80分)
14:50	閉会行事・大会鍵伝達

津奈木・水俣キャンパス

9:00	受付開始(30分)
9:30	アトラクション(20分)
10:00	開会行事(30分)
10:40	第1講時(80分)
12:00	昼食
12:50	アトラクション(20分)
13:30	第2講時(80分)
14:50	閉会行事

参加費 2,000円

第49回 tsunagu university in Ashikita・Minamata 熊本県PTA研究大会 あしきた・みなまた大会

つなぐ大学
in Ashikita・Minamata

芦北キャンパス

テーマ **防災**



記念講演 えみりー 様

第1講時(パネルディスカッション)

- 塚原 洋二 様 水俣芦北広域行政事務組合消防本部
水俣消防署 消防司令補
- 山下 暢子 様 芦北町教育委員会 指導主事
- 芦北町職員 様 防災危機管理室

第2講時(記念講演)

えみりー 様 芦北町出身タレント
演題 「今日も天気になあれ～繋がる笑顔～」

アトラクション

午前 海王塾スポーツクラブ・葦北鉄砲隊 午後 芦北ジュニア新体操クラブ

令和2年7月の豪雨により、ここ芦北地域は広い範囲で河川の氾濫や土砂崩れなど深刻な災害が広い範囲で発生しました。芦北キャンパス午前の部は、教育、行政、消防の各分野から、当時実際に災害対応に当たられた方々をお招きし、「防災」をテーマとしたパネルディスカッションを行います。いつでもどこでも起こりうる自然災害への備えを学び、命をつなぐため、そして子どもたちの未来をつなぐために、今から出来る「災害対策」を共に考えてみませんか？

そして午後の部は、芦北町出身で熊本県を拠点に九州を中心に活躍するタレント、えみりーさんによる記念講演です。演題は「今日も天気になあれ～繋がる笑顔～」。いつも笑顔が素敵なえみりーさんですが、2019年5月に血液のがんの一種である多発性骨髄腫と診断されたことを公表。その後の闘病についても積極的に発信されてきました。自身の病気やコロナ禍での自粛生活、そのような中発生した故郷芦北の豪雨災害。講演ではそこからえみりーさんが経験したこと、学んだことなどをお話しいたします。

会場人員 1000名

運営責任者 吉村 俊彦

つなぐ大学
in Ashikita・Minamata

津奈木キャンパス

テーマ **地域教育**



森 千鶴子 様

第1講時(パネルディスカッション)

- 井上 真一 様 株式会社食文化
- 山崎 聖矢 様 津奈木町農林水産課 主事
- 上原 ゆい 様 津奈木町地域おこし協力隊
- 今嶋 英明 様 津奈木小学校教頭
- 林 辰徳 様 町内生産者

第2講時

森 千鶴子 様 地域コーディネーター
演題 「ごちそうは、ここにある～海・山・畑からの食育～」

つなぐ大学
in Ashikita・Minamata

水俣キャンパス

テーマ **環境**



森下 誠 様

第1講時(パネルディスカッション)

- 小島 泰治 様 水俣市教育長
- 古賀 実 様 水俣環境アカデミア 所長

第2講時

森下 誠 様 水俣ダイビングサービス SEA HORSE 代表
演題 「生き物たちの命の営み
～現在の水俣の海中環境と多様な生態系～」

アトラクション

午前 水俣ジュニア新体操クラブ・湯出七滝太鼓 午後 やうちブラザーズ

午前の部は、水俣市教育長小島泰治様と水俣環境アカデミア所長古賀実様によるパネルディスカッションです。午後の部は、水俣市にあるダイビング会社SEAHORSE代表森下誠様による講演です。水俣市では、1992年に日本で初めての「環境モデル都市づくり宣言」を行い、ごみの高度な分別やSDGsの推進など地域の自然や生活環境の保全に繋がる活動を、官民協働で様々な環境政策に取り組みられています。また、県下多くの教育機関では、この水俣の環境モデル都市づくりを学ぶ環境学習に取り組まれています。

そしてこの瞬間も、海に寄り添って生きる水俣の人々は、環境を守るための努力と海の再生と魅力を、未来を担う子どもたちや世界に向けて発信し続けています。プロのダイバーが知る「海に潜る楽しさ」を皆さんも知りたくないですか？私たち大人が、『環境』を通して生まれる豊かな自然の素晴らしさを、後世へつなげていく『つなぐ人』として水俣キャンパスで共に学びましょう！！

会場人員 650名

運営責任者 橋本 昭

アトラクション

午前 津奈木小・津奈木中合唱
午後 つなぎ舞鶴太鼓



都市化・過疎化の進行や地域社会の連帯感の希薄化などから、地域社会の教育力の低下が指摘される中、地域社会の教育力の再生が極めて重要なことになっています。地域の大人たちが率先して地域ぐるみの啓発活動に取り組むことが大いに推奨されています。

また、これらの活動を振興していく上でも、各地域に残る郷土料理などを伝承していくことは大変に意義のあることと考えられます。PTAでも、こうした活動への支援を積極的に行っています。本会場では、地域コーディネーターの森千鶴子さんをお迎えし、津奈木町の郷土料理を通して、若い人たちとの交流や、手作りの大切さ、その中でも楽しく食育を考えていくことを、健康料理の紹介も交えながらご講演いただきます。

海・山・畑から生まれ、地元の食をどう生かし、教育につなげていくのか。皆さんで考えていきましょう。

会場人員 350名

運営責任者 迫田 健二